

Skill Up Training for DV Victim Support DV被害者対応スキルアップ研修会

⇒面接が上手になりたい方、応援します。

近年、DV防止法が施行されるとともに、医療・福祉・相談などの現場では、電話相談や面接を通してDV被害者に対応する機会が増えています。被害者が同じような質問を何度も相談員に尋ねてきたり、被害者の迷いが多くなかなか行動につなげられない、など、対応に苦慮する経験を持つ援助職の方も多いためです。

この研修会では、DV被害者ケースに必要な見立ての枠組みと対応技術を提供します。講義だけでなく、講師によるデモンストレーション、ロールプレイ実習もふんだんに取り入れ、次の日から現場で役立つノウハウが満載です。日本でこれほど詳細に具体的対応を学ぶ機会には多くはありません。ぜひご参加下さい。

◇◆内容・項目◆◇

DVの本質／被害者の心理機制／被害者が安心感をもてる援助技法／ビデオを使ったグループ討議／局面に応じた援助／ロールプレイ実習／リフレイミング、ブリーフセラピーの応用／二次被害防止／他

■参考：道あゆみ監修『ドメスティック・バイオレンス—絶望のフチからの出発』（実業之日本社）

→第4章「男性の更生」にて、本研修会の講師・草柳和之は、被害者支援の立場から、夫が更生プログラム参加の際に、被害女性が注意すべき点、疑問な出来事が起きた時の対応法等を解説している。

♪

＝毎年1・8月に開催＝

〔日 時〕2019年 **8月17** 日(土)[pm1:30～9:00]+ **18** 日(日)[am9:30～pm4:30]

〔講 師〕草柳 和之（大東文化大学非常勤講師）🌸平成27年度・社会貢献者表彰を受賞🌸

〔受講費〕二日：予約14,040円（当日¥16,200）、一日：予約7,560円（当日¥8,640）＝税込＝

〔会 場〕大東文化会館（東武東上線東武練馬駅1分）：板橋区徳丸2-4-21、他

〔主 催〕メンタルサービスセンター：Tel.03-3993-6147、070-5016-1871

〒176-8799 練馬郵便局留 <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

〔申込方法〕まず電話連絡をいただき、事前に受講費の振込みをして下さい。入金確認後に、参加者へ会場のお知らせを致します。〔みずほ銀行 桜台支店（普）1438903 名義：メンタルサービスセンター 草柳和之〕

〔備 考〕※この研修会の性質上、DV加害経験のある方のご参加は、ご遠慮いただいています。

※納入された受講費は、主催者の都合による不催行の場合を除き、返却しかねますことをご了承下さい。

♪

【講師紹介】 ●草柳 和之

▲メンタルサービスセンター代表・カウンセラー、東京加害者臨床研究会代表。長年、DV被害者支援に携わり、同時に、日本のDV加害者更生プログラムの第一人者であり、その実践は新聞・TV・雑誌等を通じて広く紹介される。TV出演などを含むマスコミ対応、全国にわたる講演活動、執筆活動を通じて、男性がDVや性暴力の問題に取り組む重要性を社会に向けて提言し続けている。日本カウンセリング学会認定カウンセラー。

▲大東文化大学非常勤講師、日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。著書に『ドメスティック・バイオレンス』（岩波書店）、『DV加害男性への心理臨床の試み—脱暴力プログラムの新展開』（新水社）、共著に『標準 音楽療法入門 下』（春秋社）、『平和を創る心理学』（ナカニシヤ出版）、他多数。家庭裁判所・国の研究機関・自治体・弁護士会・大学・学会等から、幅広く講演や研修会の依頼を受けており、その優れた研修指導は多くの人々から支持されている。長年のDV問題の先駆的・模範的組みが評価され、社会貢献支援財団より、平成27年度社会貢献者表彰を受賞した。



裏もご覧下さい！

〔参加者の感想〕

研修会記録映像・面接デモンストレーションと解説

※長年、効果的な面接法を追求してきた講師による、卓抜したワザとコツがたちどころに分かります。見ると思わず引き込まれます。音声・画面は十分鑑賞に堪える状態です。

〔講師〕草柳 和之(大東文化大学非常勤講師/メンタルサービスセンター代表)

■頒価350 円(送料別) 〔お問合せ〕メンタルサービスセンター Tel.03-3993-6147

→ 下記以外にも研修会記録映像あり。詳細はメンタルサービスセンターHP をご覧下さい。

◆2015.8.23(日)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「話が止まらない被害者への対応」—ペーシングとリード、リフレイミングの活用

◆2016.8.20(土)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「DV と認識するのを避けている被害者への対応」—CI の抵抗を活用するスキル—

「別居する決心がつかない被害者への対応/イメージ誘導のワーク」—葛藤を丁寧に拡大する—

◆2016.8.21(日)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「『夫を更生プログラムに行かせたい』と語る CI への対応」—CI が選択・判断する力を高める

「『あなたは悪くない』と被害者に伝えるのを効果的にするためのスキル」

◆2017.8.19(土)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「『これは DV なんですか?』と質問してきた被害者への対応(電話相談)」

~納得しがたい点に丁寧に対応する~

◆2017.8.20(日)《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「『暴力がなくなれば、夫とやっていきたい』と訴える被害者への対応」

「被害者から不満や不信感を向けられた時の対応」

◆2018.1.20(土)+21(日)①《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「被害者の質問の背景にある気持ちに、丁寧に対応する(電話相談)」

「面接がうまく展開していない状況を、援助的に転換するスキル」

◆2018.1.21(日)②《DV 被害者支援スキルアップ研修会》

「CI の感情を適切に扱うコツ—— No. 1: 怒り/No. 2: 怖れ」

〔参加者の感想〕

●弁護士 ♂

「私が全て悪いんです」「夫のもとに帰らなければならないんです」と言う被害者に自分の考えを押しつけるのではなく、被害者が自分から変われるよう援助することの大切さを学びました。カウンセリングの技法が中心でしたが、法律相談の場面でも生きてくるヒントをいくつも頂きました。

●元被害者・カウンセリング学習者 ♀

研修会では、被害者への具体的な言葉の使い方や介入の仕方を学び、数多くのロールプレイも実践にっ
なげられると思いました。私自身が DV の被害経験者であり、暴力の構造のところで、それを再確認す
ることで、被害者へのより良いケアについて考えさせられる充実した研修会でした。

●一般病院・ソーシャルワーカー ♀

研修会に参加して、今まで当然と思い込んでいたこと、そして、そのことに何かしっくりこないと感じ
ていたことに、新たな視点で気づくことができました。研修の内容も、参加者が技術を身につけられる
ような体験型になっており、1 回の研修で、学んだ技術を自分のものにするには難しいですが、得ら
れたものは大きかったと思います。

●精神科クリニック勤務・精神科医 ♂

以前から、DV 被害者の理解を深め適切な治療を導入するのは、重要な課題と考えていました。孤高の
心理臨床家とも思える講師が提供する本研修会では、DV 問題を考える基本概念の説明から様々な技法
を駆使したロールプレイの実体験まで密度濃く学習できました。これらの対処法を自分のものにするに
は研修時間をもっとほしいくらいで、研修はあくまで出発点に過ぎず、試行錯誤を繰り返して DV の診療
を展開していきたいと考えています。